

新シリーズ

新しい風を巻き起こす 地域おこし協力隊通信 ①

【地域おこし協力隊とは】市外の人を地域おこし協力隊員として市で採用し、最長3年間、地域協力活動に取り組んでもらう制度です。市では今年度に新たに2人を採用。現在4人が活動しています。

市では、平成27年度から地域おこし協力隊を導入しています。この隊員の活動状況などをお知らせするため、毎月、隊員の活動の様子などを掲載していきます。

今月はその第1弾として、4月から新たに隊員となったお2人をご紹介します。



「音楽で地域を盛り上げたい」

新隊員 高橋直人
Naoto Takahashi

地域おこし協力隊になったきっかけは、空き家バンクを活用して村上市へ移住しようと考えていたところ、地域おこし協力隊の募集を知り、応募を決めました。

隊員になる前は、京都に住んで料理人、人力車の車夫、お土産物屋などを経験。新潟に帰郷しシンガーソングライターとしてプロデビューし、音楽の仕事をしてきました。

もともと新潟県を盛り上げたいという気持ちで帰郷したので、ピタリなお仕事だと感じております。音楽イベントや新名物の開発に携わったり、テーマソングも作ってみたいですね。

活動地域：朝日地区塩野町地域
出身地：新発田市
趣味：ギター、料理
主な活動：農家民宿「ひどこ」を拠点とした地域活性化など

「福祉と産業を結んだ新たな生業を」

新隊員 廣井智生
Tomoo Hiroi



活動地域：山北地区中俣地域
出身地：東京都墨田区
趣味：旅行、写真撮影
主な活動：福祉と産業を結んだ地域活性化など

前職では障がい者の皆さんの支援に15年近く携わり、多くの人の思いに寄り添いながら支援をさせていたことができました。隊員の活動も、地域の皆さんの思いに寄り添っていくという点においては、同じではないかと感じています。

この地域にある、とち餅や赤かぶといった特色のある食や、山菜などの山の恵みの資源を活かし、活力あふれる地域づくりをしたいと考えています。その上で、私自身がこれまで長年取り組んできた福祉の分野と地域の産業や資源とを結び付けた活動をしてみたい。そして、多くの人が集う交流の場を創ることが理想です。

そのためには、まず何よりも地域の皆さんとの関わりを深めていきたいと思っています。

●問い合わせ

自治振興課自治振興室

☎53・2111（内線3301）